

避難先での栽培と活動

何としてでも飯舘村オリジナルのじゃがいもとかぼちゃを世の中に広める。種を繋ぐという思いが競り勝った。



イータテベイクの花

国の厳しい検査に合格させ、25年春から念願の種芋販売ができた。



種芋生産第1期検査



収穫



昨年のいいたて雪っ娘の畑。田んぼを畑にしたので苦労。飯舘の我が家の土がいかにかかたかと思ひ涙・・・



地域の方をよんで収穫感謝祭



今年は機械も使えた！約70aの面積にゼオライトを手で播いて種まきをした
こんなゴロゴロの土だけど昨年と比較にならない程改善された。植物から学ぶ事が沢山ある。
あきらめないで種を蒔いたから全国に種販売もできた。



独自の自主基準



避難先で生産した「いいたて雪っ娘」を販売しようとしたら飯舘の名前を出すのかと言われた。応援隊の方から、自分の安心、安全基準決めなと言われ、当時、国の500bq/kgの時私の中で20bq/kgとした。あくまでも自分達は被害者である。しかし、提供側になると加害者にもなり得るとして、当時としては厳しい基準にあててした。それは、自分で自分の首を絞めかねない覚悟の上であった。



毎日の弁当の検体

かーちゃんのカ・プロジェクトの商品はこの自主基準をクリアしたもののみ、かーちゃんのマークを貼って販売している。

毎日、毎日、弁当は3～4個分が検体でぐちゃぐちゃになって破棄される。それが、後何年続けなければならないのか？この為の損害分をどうしたら良いのか？福島だけにこのような事が求められるのか？